

やまもり☆ホッとスクランブル 大和市民活動センターだより

『やまとっこ☆みつけた』





第449回 4/2

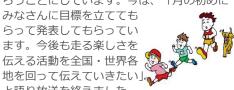
タムタムランニングクラブ

代表 佐藤心雄さん

現在は大和市を拠点にクラブ運営兼コーチ 兼ランナーとして活動しています。スワヒリ 語で「楽しい」という意味の「タムタム」を ランニングクラブの名前にしています。活動 を始めたきっかけは、走る居場所をなくして 困っている子どもたちの力になりたいとの思 いからです。

活動を続けるうちに、幅広い世代の方に走 る楽しさを伝えたいと思うようになりまし た。皆さん各々めざしているゴールが違うの で、自分に意識を向けた形で自分のゴールを 目指せるように、各自でメニューを考えても らうことにしています。今は、「月の初めに みなさんに目標を立てても らって発表してもらってい ます。今後も走る楽しさを 伝える活動を全国・世界各

と語り放送を終えました。



第 450 回 4/16 地域を明るくする リハビリテーション専門職の会 大和

代表 岡原隆之介さん

高齢者を対象に介護予防(腰痛予防、膝 痛予防、転倒予防、認知症予防、フレイル 予防、生活習慣病予防 等) の講習会を行っ ています。岡原さんは理学療法士として働 きながら、2018年から府中で活動し2021 年、生まれ育って30年の大和市で恩返し をしたいという気持ちも含めて 活動を始め ました。

2022 年度から市民活動推進補助金を受

けることができ、そこから活動がすごく加 速しました。会を発足させた時、 FM やまとに出演 し、今城さんから 「まずは自分が楽・ しむ」というアド バイスをもらい

第 451 回 4/30 一般社団法人 日本スティック競技振興協会

コーチ 猿渡 成さん

フロアボール(アイスホッケーの室内 版)をはじめ、アイスホッケー、ボック スラクロスなどスティック競技を日本で メジャースポーツにしていきたい、多く の方にスティック競技の面白さを伝えた いということで立ち上げました。

猿渡さんは小学校3年生のころにネオ ホッケーに出会い、そして、中学からフ ロアボールを始め、中学3年生と高校3 年生の時に U19 の日本代表に選ばれ、 世界大会に出場。子どもたちの運動能力

の低下が起きな いように運動の 機会を増やし、 也域社会で皆 さんが楽しく生 活を送れる場所を作っ ていきたいと抱負を語りま

心掛けています。 5月の出演 第 452 回 5/7 「下鶴間太極拳クラブ」 第 453 回 5/21「大和華道協会」 FM やまと 77.7MHz 第 1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第30回 思い出を辿る言葉

方言の意味を尋ねると、他人の日記 を盗みみた気持ちになれる。着飾ること のできない言葉のなかから、楽しい思い 出も、恥ずかしいできごとも、会話の中 によみがえってくる。

5月の連休に、岩手県一関市を訪れ、 目当てにしていた岩手県南の小学校の郷 土教育資料を見ることができた。資料を 見せてくれた地元の方によると、今から 85年前に、小学校の教員が教育状況を

姓 早 あか 5. t ありま

報告するために作成したものらしい。資料には、原稿用紙に手書き で、方言が一覧にされている部分もある。ご厚意で、資料を写真に 撮らせてもらった。

その日の晩、緑のふるさと協力隊の時にお世話になっていたシ 二ア世代のご夫婦の家に泊まらせてもらえるということで、一緒に



ビールと夕食をいただいて いた。

資料にある方言につい て、どんな風に使うかを尋 ねていた。例えば「あつご と」は心配事の意味らしい が、ご夫婦によると、語源



はおそらく 「案ずること」だ。だから 「あんつこど、すっことねっから」は、 「心配いらないよ。大丈夫、大丈夫」と いう思いやりを含んだ表現になる。

奥様が「思い出した」と語り始める。 昔、働いていた職場の忘年会で、カラオ ケに行ったらしい。「お酒がまわって酔い れて歌う同級生に、『あんつこどなす ~! 』と合いの手を入れたものだわし

「あんつこどなす、っつうのは能天気な人をいうのだけっども、 言われている方は何言われているかわからないんだっしょ」と、 いたずらを思い出したように笑う。

最近の飲みの場では、「してこび、おどげ、あぐど (額、喉、か かと)」と、わざと言ってみせることで、盛り上がる。「こんな風に 言ったもんねぇ、と懐かしく柔らかい気持ちになるのさ。さすが

の私でも普段から『あぐど』とは言 わないもんね」

ご夫婦が言うには、同じ集落の 小学生や、テレビに映る岩手県内 の子供達は、綺麗な言葉を使うら しい。思い出を辿る言葉がなくな るのは寂しい。



サポーター 尾畑 螢

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第202号 発行日:2024年5月10日

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00> <休館日 | 2月 29日~| 月 3日·毎月第 3月曜日> 〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

発行:大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788 e-mail:yamato@ar.wakwak.com http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!



第202号 2024年 5月 10 日 大和市民活動センター [拠点やまと] 発行

ク 月号 2024



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催 「第 16 回やまと国際アートフェスタ」

入賞作品を毎号掲載しています

今回のテーマ ~ここから、未来へ ~

(株)浜屋百貨店賞

ウディン ムハメド ズバエルさん 南林間小学校6年(当時)

バングラデシュ人民共和国

タイトル 地球を守ろう 世界中の人たちと ★メッセージ★

世界のみんなが協力したら

素晴らしい地球になると思います ☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *

主催で毎年開催されています。 ★「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち」

大和」を考えるボランティアグループです。

協働事業・市民活動推進補助金事業報告会を開催

令和5年度実施事業の活動内容を報告いたします どなたでも入場できます。

と き: 令和6年5月21日(火)13時15分~17時 ところ: 大和市保健福祉センター ホール

○大和市協働事業提案制度に基づいて、令和5年度に実施された 11の協働事業と昨年度補助金(めばえ)を交付した「移動販売 買い物支援・消費者と生産者等の交流事業」(NPO 法人 lagraine ラグレーヌ) が活動報告を行います

※大和市民活動センターは、「大和市民活動センターの管理運営」 事業(行政提案型)として、「拠点やまと」と「市民活動課」の 協働事業として運営しているので 報告会に参加します

「市民活動推進補助金」対象事業が決定

令和6年度事業について、公開プレゼンテーションと書類審査の結 果、次の2事業が決定しました

めばえ(交付金額5万円)

○やまとで生きた人々への聞き書き: Time and Place Project (歴史工房やまと)

はぐくみ(交付金額20万円)

○地域活性化による交流事業(NPO 法人 lagraine ラグレーヌ)

市民交流カフェがオープンします!! 市民交流スペースにて

ここに来ると誰かに会える ここに来ると誰かとつながる 対象は、こども・若者をはじめとする市民、部室・リゲル入室者 *6月から毎月第1土曜日、第3水曜日の午後3時から5時30分の 開催予定です。みんな遊びに来てね!!

ウイズコロナ、ポストコロナの時代 市民活動、NPO活動、社会貢献活動は どうあるべきか「先駆の人を訪ねて」

8名へのインタビュー、12回の掲載を振り返って

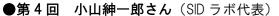


●第1回、第2回 田代美香さん(認定非 営利活動法人ぐらす・かわさき副理事長) (府中市市民活動センタープラッツ統括)

「何気にさらっと行動したら、援軍がすっと やって来てどんどんつながり、次のステージ へ その1、その2」 (2021.9.10 月号)

●第3回 望月晶子さん(紙しばいや)

「オーディションから紙芝居師への道を開 き、オリジナル作品をつくり、演じて、ウイ ズコロナの時代に世界の子どもたちとつなが (2021.12 月号) ったし





「社会教育」のフィールドでの先 人との出会いを原点に、かながわ 国際交流財団等での多様な経験を 経て市民活動中間支援の道へ」 (2022.2 月号)

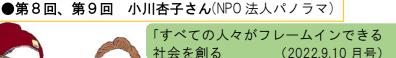
●第5回 坂内泰子さん (一般社団法人自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー



「日本語教室は外国人と日本人がふれ あう最前線。オンラインが苦手なら、 外国人生徒に教えてもらおうよ」 (2022.4 月号)

●第6回、第7回 中津川浩章さん(認 定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 障 害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィ ーヴル(生活介護・就労継続支援 B 型) アートディレクター・理事

福祉施設でアート活動をするということ 1その表現活動を仕事にする 2仕事にな ったアート活動を企業と行政をエンロール して行う!! (2022.6.7 月号)





←カフェでは、イン スタントだけど温か いスープも提供。冬 場は身も心も温ま る一杯。一杯で済 まない生徒も多数。 特に男子は。

●第10回 井上珠子さん (珠デリ 鎌倉市 稲村ケ崎)

ノープランの旅の中で、出会う人、言葉、感情、 全て尊く、意味がある (2022.10 月号)





●第11回、第12回 アルベルト松本さん (アルゼンチン日系二世)

異文化コミュニケーターとしての松本さんに求 められたのは仲介役 「寄り添うだけではだめ、 学び合いが大切」 (2023.4,5 月号)



『 弥次喜多インタビューの振り返り 』 市民活動は座っていては駄目! 共育セミナーも広報も 待っていては駄目! 会長は飲んでばかりいては駄目! 大和市民活動センターが動き出しました。

こちらからの"インタビュー巡り"です。準備セットア ップは担当の船越、私は名刺交換とカバン持ち…と思って いましたが…いざお伺いする場所、場所で"目からウロ コ"で感心しきり!と言うより我が身を振り返って反省し きり! 兎に角、迫力があります。市民活動を通じて、そ して体験から出る言葉には訴えるものがありました。



また不思議にインタビ ューの場所、雰囲気も話 の内容と一緒に忘れられ ないものです。「そこの大 学生たちが…」、お寺の本 堂での"紙芝居"、利用者 たちの絵画に囲まれたカ フェオレの薫り!!、「エ ッ?来週からまた海外 へ? I Zoom では味わえ ない体験でした。

市民の数だけ多様な「私」がいて、多様な価値観がある

新型コロナウイルス (COVID-19) に翻弄された 3 年間 は、いや現在も引きずっているのでもっとかもしれない が、人に会うことや会食をすること、入院している人や 施設に入所している人への面会も原則できなかったりし た。仕事やさまざまな活動に制約がかかったが、文化面 では、NHKの朝ドラ「エール」の収録ができなくなり、一 定期間再放送になって、視聴者にエールを送れなかった んだなと思ったことが記憶に残っている。

そんな中でも活動を止めてはいけないと、ZOOM などオ ンラインツールを使った会議や授業、セミナー等が開催 された。大学の授業では、上半身だけ着替えていれば下 はパジャマで受講ができると知り合いの女子学生から聞 いたこともあった。オンラインの活用によって、時間と 空間を超え、通勤・通学時間が節約でき、在宅勤務も認 められるようになったというプラス面も確かにあった。

「先駆の人を訪ねて」の第3回で、インタビューをした 望月晶子(もっちい)さんは、紙しばいやさん。コロナ のおかげで、現場の事業が全部できなくなったから、オ ンラインで海外のこどもたちに紙芝居を演じてもらった り、観てもらって、多くの国の人とつながるという嬉し いこともあったと話されていた。

でも、もっちいさんは、「やっぱりリアルがいい。これ からはコロナの状況を見ながら現場での紙芝居を増やし ていきたい」とも話していた。

「ウイズコロナ、ポストコロナの時代 市民活動、N PO活動、社会貢献活動はどうあるべきか『先駆の人を 訪ねて』」は直接会うことが大切。「やっぱりリアルだ よ」という思いで、「あの手この手」2021年9月号から連 載をスタートさせ、2023年5月号までの1年8ヶ月、信 念、想いを持ちプラスイメージを描いて実現させ、前向 きに走って来た人を訪ねてお話を伺った。

さまざまな分野で活動をされているご縁のある方々から の熱いお話に共通していたのは、それぞれの活動の裏に は計り知れないご苦労はあるけれども、それを上回るキ ラキラ輝いたプラスのオーラに溢れていたというこ

だった。お話を伺っていると元気になれた。まさに 「先駆の人」がレールを敷いてくれていた。

私は他市のNPO活動にも関わっているが、今年の1月 の屋外活動(こどもたちが企画した七福神めぐり)に参 加した小学校4年生のおかあさんたちが「今の小学校4年 生は、コロナで集団活動ができなかったから、こういう 屋外での活動が今までなかった。参加できてよかった」 と話していたことを思い出す。このようなことは中学、 高校、大学生も同様と思うが、集団生活の中で、自我に 目覚め、他者との関係性を学んでいく小学生、特に低学 年にはもっとも影響が大きかったのだろうと改めて思 う。一方、感染を恐れて、病院や高齢者施設において も、いまだに面会すらできないところもあると聞く。

そんな中、繰り返しになるが、人が直接会って同じ空 間、時間を共有することがいかに大切であるかを今回の インタビューシリーズで伝えたかったのである。

そして、大事なことは、今回インタビューした8人 は、結果としてみんな「新しい公共」を担っている方た ちだということ。役所が担えない、担わない公的サービ スを意識せずにさらっと行っていて、その活動が自らの ライフワークとなっているところもカッコイイ。

大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例(2002 年7月1日施行)の前文につぎのようにある。「私たちの まち大和市には、子ども、大人、障害のある人、外国籍 の人などを含め多くの市民が暮らしています。市外から の通勤や通学などによる広い意味での市民もいます。そ こには、市民の数だけ多様な「私」がいて、多様な価値 観があります。大和市は、それらを互いに受け止め、認 めあえる、誰もが自由で健やかに過ごせる地域社会であ りたいものです」

改めて、このことを原点として踏まえて、ベテルギウ スの交流スペースを使って、<mark>市民交流カフェ</mark>を始めま す。取り急ぎ、<mark>5月27日(月)午後3時にプレオーフ</mark> ン。みんな遊びに来てね!!

この頁編集・文責:船越 英一 イラスト:望月 則男

4月の展示コーナ

大和地区日中友好協会

日中の民間交流を通して、相互の 友情と信頼を高め、日本と中国の友 好と世界平和に資することを目的に 講演会、中国語教室、春節の集いな どの活動をしている。

One for all All for one

共育ボードより 抜粋 ★光と影の表現がすばらしいです。美しい… ★ねこかわいすぎる ★私はく



20

新江ノ島水族館・仙台うみの杜水族館・マクセルアクアパーク品川を訪ねました



市民交流スペース内の「展示コープ では、個人・団体の活動の紹介や 作品展を行うことができます。申込み 方法については、大和市民活動センタ -までお問い合わせください。

★写真をみて一番かわいいのはいるかで す。理由2人ともじゃんぷがうまくて、う 鋒 まれかわったらいるかになりたいし、か き わいいからこんどいきたいなと思いまし

らげが大好きなのでとてもうれしかったです。(くらげの写真があったか

ら)かわいかったです。本物をみたいです★ネコの写真いただきました。 かわいですね!ありがとうございます ★すごくかわいくていい写真だ-**♥** ★わざわざ水族館に行って撮りに行ったなんてすごいですね!!写真を少しも らいます。これからもがんばってください!! ★「青」がとてもキレイで引 き寄せられました。カメもかわいかったので写真いただきます ★ どの写真 も幻想的で美しいですね。いただいていいなんてすばらしいです。クラゲの をいただきました。かざりますね ★目の光がとてもすてきです ★瞬間って すごい。すばらしい! ★ねこ大好き!カワイイです。ステキな写真ありが とう ★水族館の写真良く良く撮れました。動きがあるのでむずかしいです よね ★とてもステキです。イルカ、カピバラ Photo いただきました♥ ★ すいぞくかんってすごいですね。もらいました ★ねこすき♥かわいい